



東地中海地域ニュース

レバノン：スレイマン・レバノン大統領シリア訪問

(8月13日付ワタン紙)

1. 会談

(1) スレイマン大統領はバッシャル大統領からの訪問招待に応じて13日及び14日の2日間シリア公式訪問を開始、両首脳は双方の関係者を交えた協議後に首脳会談を行い、その後再び双方の関係者を交えて3時間の協議を行った。

(2) 一連の協議において今後も存続する方向にあるレバノン・シリア最高評議会事務局が個々の問題の詳細を引き続き検討することとした上で、大使の交換、国境の策定、国境管理、合意済みの種々の両国間協定の見直し、両国における被抑留者及び行方不明者の問題が話し合われた。

2. 特別声明

シャアバーン大統領顧問より両国外交関係に関する宣言が以下の通り読み上げられた。

(1) 両国同胞関係、並びに先般のパリでの両国大統領の会談で同意された内容の枠組の中で両国首脳は大使レベルでの外交関係を開設することに合意した。

(2) 両国外交関係は、国連憲章およびウィーン条約を含む国際法に基づき、今後の必要な措置は両国の法律を基礎として両国外相によって実施される。